

船舶事故調査報告書

平成26年9月18日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成25年11月3日 16時ごろ～17時40分ごろの間）
発生場所	不明（愛媛県宇和島市泥目水漁港 ^{どろめず} ～宇和島市津島町坪井北西方沖の間）
事故調査の経過	平成25年11月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{さんぼう} 山宝丸、0.4トン EH3-84804（漁船登録番号）、個人所有 5.01m(Lr)×1.72m×0.54m、FRP ガソリン機関（船外機）、漁船法馬力数30、平成元年8月15日
乗組員等に関する情報	船長 男性 58歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年6月6日 免許証交付日 平成24年11月30日 (平成30年9月21日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、夕食用の魚を捕るため、平成25年11月3日16時ごろ泥目水漁港を出港し、17時40分ごろ、坪井北西方沖において、無人で漂流しているところを僚船に発見された。 船長は、僚船等によって捜索が行われ、4日07時46分ごろ坪井西岸から約5～10m沖の海中に沈んでいるところを発見され、溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南東、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏
その他の事項	船長が発見された場所は、日頃から操業していた海域であった。 本船は、船長が発見された場所から北西方約1kmの所で発見され、船外機は停止した状態であり、漁具も積まれておらず、また、船体に他船との衝突痕はなかった。

	<p>船長は、持病がなく、薬も服用していなかったが、3日が祭りであり、昼ごろから酒を飲んでいた。</p> <p>船長は、発見された際、救命胴衣を着用しておらず、救命胴衣は、船内に保管されていた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、16時ごろ泥目水漁港を出港した後、17時40分ごろ、坪井北西方沖において、無人で漂流しているところを僚船に発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられる。</p> <p>船長が落水及び溺水に至った状況は、明らかにすることができなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が泥目水漁港を出港した後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命胴衣等の適切な着用を心掛けること。